

- 問1 1297年に出された「元寇後に出されたきまり（永仁の徳政令）」において、御家人の生活を立て直すために定められた具体的な仕組みとして正しいものはどれですか。（2020年 長野県公立入試 類似）
- 御家人が借金の担保として質に入れたり、売却したりした領地を、無償で取り戻させる。
 - 領地の売買を完全に自由化し、実力のある者が土地を集積して農業生産力を高める。
 - 御家人に対して、戦功に応じた新しい領地を朝廷の権限によって強制的に割り当てる。
 - 幕府が御家人の借金をすべて肩代わりし、代わりに全国の商人に新たな税を課す。
- 問2 1281年に起こった弘安の役（元寇）などの歴史的背景がある中で、当時の「元」の様子や日本についてヨーロッパに紹介したマルコ・ポーロの記述内容として、最も適切なものはどれですか。（2026年 青森県公立入試 類似）
- 日本を「黄金の国ジバング」と呼び、宮殿が金で覆われていると紹介した。
 - 日本は中国大陆と陸続きであり、歩いて渡ることができる未開の地であると紹介した。
 - 元は日本への遠征に失敗したため、フビライ・ハンは日本との通商を諦めたと述べた。
 - 日本には強力な武士団があり、火薬を使った武器を独自に開発していると記した。
- 問3 鎌倉幕府の仕組みにおいて、御家人が将軍に対して果たすべき「奉公」の具体的な内容として、戦時の軍役以外に行われたものはどれですか。（2021年 福島県公立入試 類似）
- 全国の荘園に年貢を配分する
 - 京都や鎌倉の警衛にあたる
 - 幕府に金銭による租税を納める
 - 朝廷の政治決定に従う
- 問4 鎌倉幕府を支えた将軍と御家人の関係において、将軍が御家人に対して行った「御恩」の具体的な内容として、最も適切なものはどれですか。（2021年 静岡県公立入試 類似）
- 京都や鎌倉の警備を行い、将軍の身辺を護衛すること
 - 全国の荘園や公領から兵糧米を徴収する権利を与えること
 - 先祖伝来の領地の支配を認めたり、新たな領地を与えたりすること
 - 戦時に軍勢を率いて駆けつけ、命をかけて戦うこと
- 問5 御成敗式目が制定された目的と、その対象について述べた文として正しいものはどれですか。（2025年 栃木県公立入試 類似）
- 御家人同士の土地争いなどを公平に裁く基準を示すため、武士社会の慣習に基づいて定められた。
 - 源頼朝が征夷大將軍に任命された際、幕府の組織を維持するために朝廷の法律を書き直して定められた。
 - 元寇による恩賞への不満を抑えるため、御家人の借金を帳消しにすることを目的として定められた。
 - 全国の大名を統制し、城の修理や婚姻を制限することで江戸幕府の支配を固めるために定められた。
- 問6 鎌倉幕府の衰退を招いた要因の一つに、武士の経済基盤が弱体化したことが挙げられます。このように、親が子に対して領地を分けて受け継がせる相続の形態を何とといいますか。（2023年 福岡県公立入試 類似）
- 嫡子相続
 - 単独相続
 - 分割相続
 - 寄進相続
- 問7 13世紀後半、元軍による最初の侵攻である文永の役ののち、鎌倉幕府が再度の襲来に備えて、九州北部の博多湾沿岸に約20kmにわたって築かせた石造りの防壁を何とといいますか。（2023年 高知県公立入試 類似）
- 環濠
 - 水城
 - 山城
 - 防塁
- 問8 1221年に起こった承久の乱の後、鎌倉幕府が朝廷の動きを常に監視し、あわせて西日本の政務や裁判を行うために京都に設置した機関はどれですか。（2018年 滋賀県公立入試 類似）
- 評定衆
 - 鎮西探題
 - 六波羅探題
 - 問注所
- 問9 13世紀後半のモンゴル帝国の襲来（元寇）の後、鎌倉幕府は生活に困窮した御家人を救済するための法令を出しました。御家人が借金の担保として手放した領地を無償で取り戻させるなどの内容を含んだ、この法令の名称を答えなさい。（2023年 埼玉県公立入試 類似）
- 武家諸法度
 - 徳政令
 - 墨田永年私財法
 - 御成敗式目
- 問10 鎌倉幕府において、源頼朝の死後、北条氏が世襲した役職について述べたものとして正しいものはどれですか。将軍を補佐し、幕府の政務を統括した最高役職を指します。（2020年 愛媛県公立入試 類似）
- 執権
 - 関白
 - 管領
 - 摂政
- 問11 13世紀、モンゴル帝国のフビライ・ハーンが中国に建てた王朝で、二度にわたって日本に侵攻してきた国の名称を何とといいますか。（2023年 高山県公立入試 類似）
- 清
 - 高麗
 - 元
 - 明
- 問12 鎌倉時代の文化の特徴である「平家物語」の普及について、当時の社会背景を踏まえた説明として正しいものはどれですか。（2020年 大阪府公立入試 類似）
- 遣唐使によってもたらされた大陸の最新文学が、そのままの形で武士の間で流行した。
 - 印刷技術が飛躍的に向上したことで、大量の書籍が安価に販売され、農村部まで流通した。
 - 貴族が自らの特権を維持するために、平氏の成功体験を教訓として記録し、秘密裏に共有した。
 - 武士の台頭により戦いへの関心が高まる中、語り手によって劇的に語られる物語が庶民の共感を呼んだ。
- 問13 二度の元寇によって対外的な危機を乗り越えた鎌倉幕府でしたが、その後、幕府の支配力は急速に衰えていきました。その大きな理由として、戦後の対応におけるどのような事情が挙げられますか。（2020年 大分県公立入試 類似）
- 武士の生活の基準となる法典である御成敗式目が制定され、幕府の権限が制限されたこと
 - 元の文化が流入したことで、武士の間で質素倹約の精神が失われ、贅沢な生活が広まったこと
 - 多くの御家人が自らの土地を幕府に寄進し、幕府が土地の管理に追われて統治が疎かになったこと
 - 防衛に成功したものの、恩賞として御家人に分け与えるための新たな領地が不足していたこと
- 問14 1221年に後鳥羽上皇が鎌倉幕府を倒そうとして兵を挙げた「承久の乱」の後、幕府は西日本の統治を強化しました。この出来事の戦後処理として、当時の日本の諸国の状況がどのように変化したか、最も適切な説明を選びなさい。（2014年 沖縄県公立入試 類似）
- 源頼朝が征夷大將軍に就任したことで、全国に守護と地頭を設置する権利が初めて認められ、北条氏がその実権を握るようになった。
 - 幕府に反抗した貴族や武士の領地が没収され、北条氏などの有力な御家人が新たに守護として配置されたことで、幕府の支配力が西日本まで拡大した。
 - 後醍醐天皇による建武の新政に対抗するため、北条氏の勢力を排除しようとした武士たちが、各地で守護として自立し始めた。
 - 九州北部への元軍の侵攻をきっかけとして、沿岸部の防備を固めるために、西日本の有力御家人が一斉に守護に任命された。